様式３(2015.06改)

作成日　令和元　年12月　12日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2391200033
事業所名	グループホーム　宝南の家

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	町内会に加入し、回覧板や地区委員長から情報を得ている。町内の清掃や防災訓練、夏祭りには、入居者と一緒に参加して地域と交流する機会を大事にしている。町内と合同の餅つき大会では、施設を開放したり、地域の商店や飲食店などを利用したりして地域とのつながりを大切にしている。地域ボランティアの協力を得て、家族と共に日帰り旅行や地域の催しに出かけている。併設のデイサービスで認知症カフェを開催し、認知症高齢者の憩いの場となるような取り組みや、中学生の福祉体験を受け入れ認知症について理解を深める学習の場を提供している。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	入居者や家族代表、学区委員長、寿会会長、地域住民代表、民生委員、学識経験者、いきいき支援センター職員の参加を得て年6回実施している。運営状況や活動内容、事故やヒヤリハットなどの報告を行い、身体拘束廃止の取り組みなどを議題として取り上げ、参加者と活発な意見交換が行われている。参加者からの意見や提案等はその場で話し合ったり、記録して会議などで協議しサービスの向上に活かしている。会議録は、家族全員に郵送している。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	行政担当窓口には介護保険更新手続きや申請の代行業務、サービスの取り組みなどを伝え、情報交換をしながら良好な協力関係を築いている。職員は市主催の研修会に積極的に参加し、サービス向上へ繋げるように努めている。管理者は南区の認知症専門部会などで委員として活動し、認知症であっても暮らしやすい地域づくりを目的に認知症の啓発や地域ネットワークを創るための取り組みを行っている。区役所主催のここばり作品展に出展し、入居者と共に作品展の見学に出かけている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	入居者からは日々の関わりの中から思いを聞き、記録して職員間で共有しケアにつなげている。家族からは面会時や納涼会、敬老会などの家族会や行事の折、ケアプランの説明時に意見や要望を聞き、ケアや業務改善に役立てている。グループホームだよりを毎月発行し、入居者の日ごろの様子や外食、行事の写真を掲載して家族に安心を届けている。意見箱を設置して意見を述べやすい環境を整えている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		◎

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	認　事　項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	－	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎